

西日本肥満研究会 若手臨床研究奨励賞 およびコメディカル部門最優秀演題賞規定

- 【対象】 学術集会における一般演題の筆頭著者。若手臨床研究奨励賞は国内で行われた肥満症に関する臨床に関連する研究で、応募時点において論文化されていない研究であること。なお、疾患や病態の解明のための補足的な基礎研究は可とするが、純粋な基礎的研究は原則として対象としない。コメディカル部門最優秀演題賞の対象は、応募された一般演題の筆頭演者がコメディカルである場合とする。本賞の受賞は1回のみとする。
- 【応募資格】 若手臨床研究奨励賞は年齢 40 歳以下（当該年度の 3 月 31 日現在）または大学卒業後 15 年以内の医師または医学博士で、学術集会の一般演題を発表する西日本肥満研究会会員。コメディカル部門最優秀演題賞は、医師以外の医療従事者で、学術集会の一般演題を発表する西日本肥満研究会会員（年齢は問わない）。なお、演題登録時点で非会員である場合、入会手続きは演題登録時に開始し、大会当日には入会手続きが全て終了していることを必須とする。
- 【応募方法】 若手臨床研究奨励賞は、学術集会の一般演題登録時に本賞に応募する意思表示を行う。コメディカル部門最優秀演題賞は、学術集会の一般演題登録時に職業を明らかにすると共に、本賞に応募する意思表示を行う。
- 【応募締切】 当該年度の学術集会一般演題抄録締切日を応募締切日とする。
- 【選出方法】 若手臨床研究奨励賞は、選考委員会にて、提出された抄録により一次審査を行い、学術集会 1 日目において口頭発表の内容、質疑応答の審査を経て選考委員会が選出する。口頭発表するのは 4 演題を原則とする。選考方法は、原則として相対評価による採点方式にて行う。選考委員は自施設からの演題は採点（選考）しない。コメディカル部門最優秀演題賞は、発表を担当した 2 名の座長が選考する。座長はあらかじめ自施設からの発表がない者に依頼する。応募演題数が多く複数のセッションに分かれる場合は、それぞれを担当した座長が協議して選考する。
- 【表彰者数】 若手臨床研究奨励賞とコメディカル部門最優秀演題賞は、原則として 1 名ずつとする。
- 【賞状・副賞】 賞状および副賞

【表彰時期】 当該年度の学術集会期間中に実施する。

【選考委員】 選考委員長は、研究会の開催会長とする。選考委員会委員は世話人、または世話人からの推薦人より計5名の委員を選出して構成するが、2年間の任期で交代する。なお、選考委員が、研究会当日に欠席の場合は、選考委員長が代理の選考委員を指名する。

平成28年8月27日作成

平成31年1月18日改訂